

経営比較分析表（令和5年度決算）

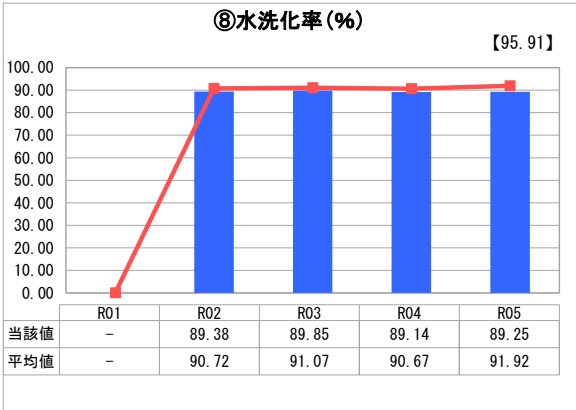
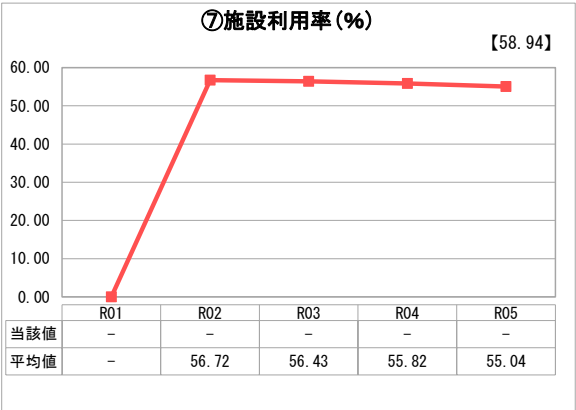
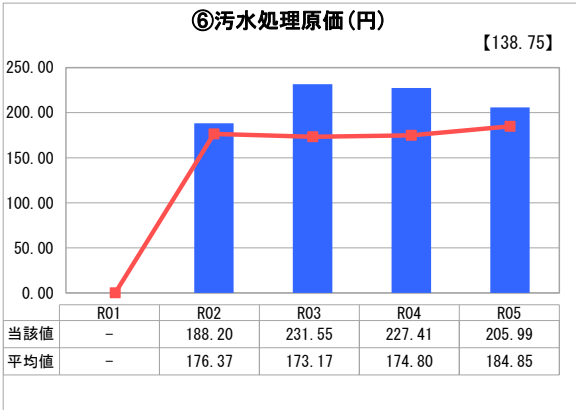
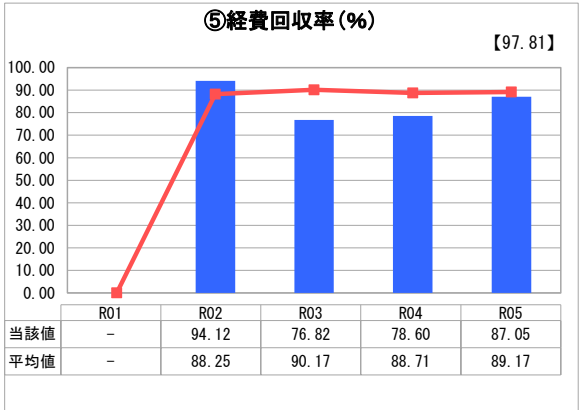
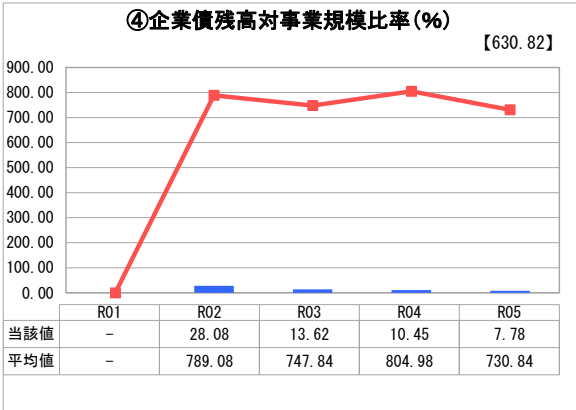
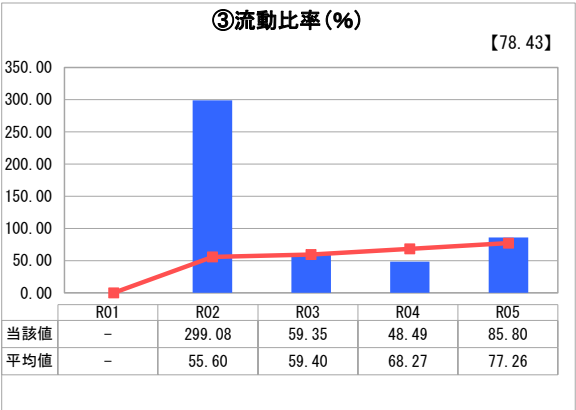
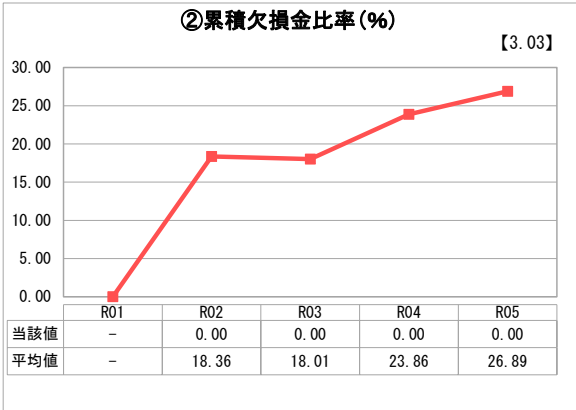
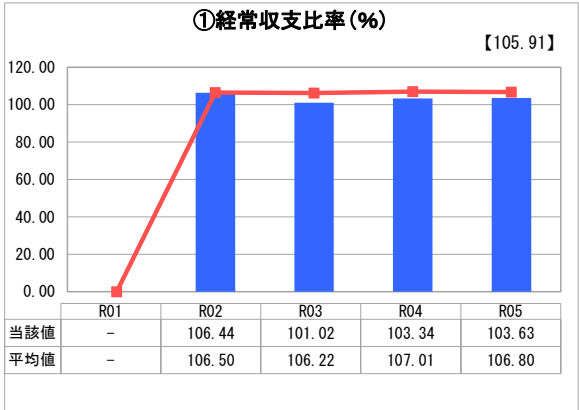
茨城県 潮来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.53	75.83	93.42	3,520

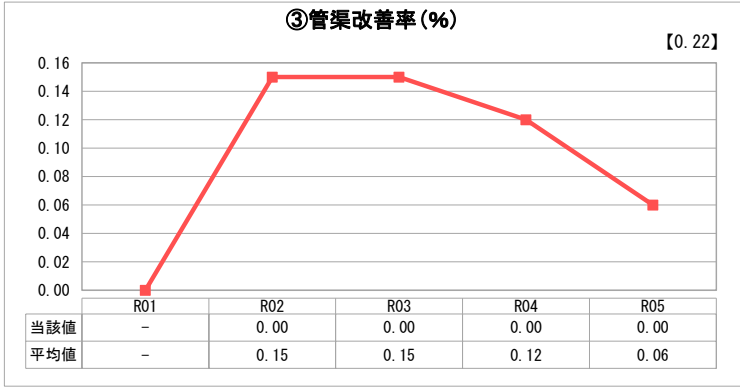
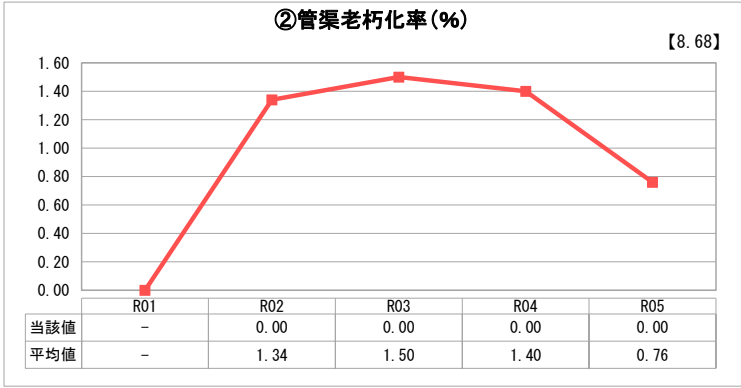
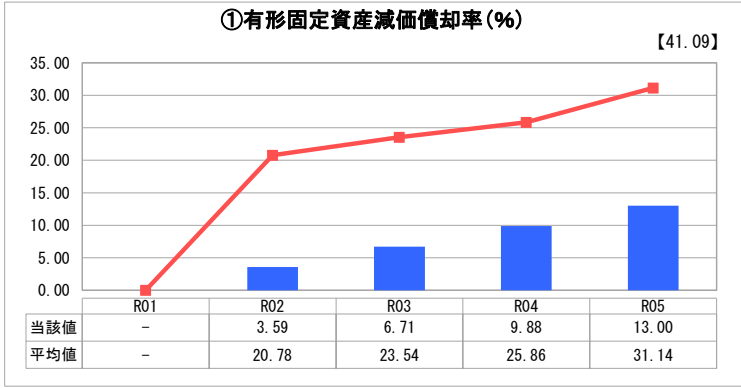
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,555	71.40	371.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
20,019	8.10	2,471.48

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

【はじめに】
潮来市では、令和2年度より地方公営企業法の財務規定を適用し、事業を運営している。このため、左記に掲げる各指標については、令和2年度からの比較となる。そのうえで、下記の通り分析する。

【経常収支比率】
100%を超えており、類似団体平均値とほぼ同水準となっている。しかし、污水处理に要する経費を下水道使用料だけでは賄いきれず、一般会計からの繰入金で補填している状況にある。今後も、接続率向上による下水道使用料収入の増加に取り組み、適正な使用料収入の確保に努める。

【企業債残高対事業規模比率】
類似団体と比較すると低い値ではあるが、企業債残高のうち一般会計繰入金で多くを補填している状況である。

【経費回収率】
昨年度と比較すると改善できているが100%には達していない。引き続き、接続率向上による使用料収入等の確保、污水处理費の削減に努める。

【污水处理原価】
前々年度から2年連続で低減させることができていたが、依然として類似団体と比較して高い水準である。引き続き、維持管理費の削減等経費の精査、接続率向上による有収水量増加に努める。

【水洗化率】
昨年度よりわずかに増加し、類似団体とほぼ同水準となっている。戸別訪問やダイレクトメールの送付を行い、接続率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

当市の下水道施設は、昭和52年(1977年)に供用開始し、管渠施設の法定耐用年数である50年を控えているため、適切な維持管理を進めていく必要がある。令和2年度に策定した、ストックマネジメント計画に基づき、今後も施設の点検を行い、必要な改築、更新を進めていく。令和5年度から令和7年度の継続事業として延方中継ポンプ場改築工事を実施している。

【有形固定資産原価償却率】
類似団体と比較して低い数値となっているが年々増加している。ストックマネジメント計画に基づき、必要な改築、更新を進めていく。

全体総括

経営関係は経常収支比率や経費回収率などを昨年度と比較して向上させることができた。引き続き、水洗化率向上による使用料の増収に努め、一般会計からの繰入金の削減を図る。また、污水处理に関する分析・検討を進め、さらなる経費回収率向上や污水处理原価の削減に努める。

老朽化の問題については、ストックマネジメント計画に基づき、必要な改築・更新を進めていくとともに年度間の事業費の平準化を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。